森林基幹道 豊築松尾線開通式

11月15日(木)に、豊前市大字中川底と上毛町大字西友枝を結ぶ、森林基幹道「豊築松尾線」の開通式が、上毛町大字尻高(林道冷水線終点付近)で開催されました。

この路線は、豊前市中川底地区の市道を起点とし、下川底地区の林道、上毛町尻高地区の林道冷水線、西友枝地区の町道横川・松尾線及び林道御在所線を連絡し、県道福土・吉富線と連結する総延長約12kmの森林基幹道です。

これまでは山の南北に延びる道路しかなく、東西の行き来は尾根に遮られ困難でしたが、横断的に結ぶ「豊築松尾線」が完成したことで既存の道路がネットワーク化され、低コストで効率的な林業活動が望まれるようになりました。また、「お田植祭」で有名な修験の山である松尾山の登山ルートも増え、地域交流や観光振興など波及効果による地域経済の活性化が期待されます。

平成24年度上毛町人権講演会 菊地幸夫さんが講演

12月8日(土)、人権週間の取り組みのひとつとして、げんきの杜で上毛町人権講演会が開催されました。

講師には、テレビでおなじみの弁護士の菊地幸夫さんを迎え、「出会いの人生から学んだこと」と題し、講演していただきました。

菊地さんは、監督である地元バレーボールチームの子どもたちとのふれ合いや、弁護士としての仕事を通して「大人も子どもも関係なく同じ1人の人間として、お互いを認め合い、コミュニケーションを図ることの大切さを感じた」と言います。ユーモアがあり、人柄が滲み出るような話し方で、会場に集まった人たちに、人権に対する思いを伝えました。

また、ロビーでは、小・中学生による人権ポスター、デザイン標語の展示や、人権擁護委員さんによる街頭啓発も行われました。

平成24年度「教育力向上福岡県民運動優秀実践校」に 上毛中学校が受賞

11月25日(日)、苅田町中央公民館で開催された教育力向上福岡県民フォーラムにおいて、教育力向上福岡県民運動優秀実践校として表彰されました。これは、「福岡がめざす子ども～志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子ども～」の育成のため、優秀な取り組みを行う学校などを表彰するものです。

上毛中学校では、地域の学校支援活動として「文化講座」に取り組んでいます。茶道、日本舞踊などの講師を地域の方にお願いすることにより、生徒の学ぶ意欲の向上を図ることができ、また「地域全体で子どもを育てる」という気運が高まってきており、その取り組みが評価されました。

清原建樹氏 瑞宝単光章を受章

元上毛町消防団 副団長 清原建樹 氏が、瑞宝単光章を受章されました。清原氏は43年3ヶ月の長きに渡り消防団員として活動し、平成17年10月から1年11ヶ月、上毛町消防団副団長として活躍されました。

清原氏は、「地区の皆さんや消防団の諸先輩方の協力のおかげで受章することができました。消防団の活動に携わった者にとって最高の栄誉です。今後はOBとして、消防団の活動について微力ながら支援していきたいと思います。」と感謝の言葉を述べられました。

平成24年度福岡県スポーツ推進委員 感謝状受賞

12月9日(日)、北九州市で「第48回福岡県スポーツ推進委員研修大会」が開催され、上毛町スポーツ推進委員の吉村和彦氏と松井敏己氏に感謝状が贈られました。

両氏は平成14年4月に体育指導委員(現:スポーツ推進委員)に就任以来10年の長きにわたり、町の社会体育振興・推進に努め、各種体育行事の企画、立案、運営に参画し、地域スポーツの普及振興及び推進に多大な功績を収めました。

松井敏己氏（宇野）

吉村和彦氏（宇野）

お試し居住事業「上毛町ワーキングステイ※」交流会 「都市×上毛」暮らしの価値観が交流

11月10日(土)、上毛町ワーキングステイ参加者を囲み、交流会を開催しました。会場は、グリーンツーリズムの取り組みで盛り上がりを見せている東上の有田地区。

第一部は、巣狩谷ライブハウスで「田舎で暮らす・働く」をテーマに、鶴田町長、奥野副町長、ワーキングステイ参加の皆さんが対話を行いました。

第二部は、北村邸に会場を移し、会食をしながらマイクをリレー。全員で、田舎の暮らしや交流する意義などについて考えました。巣狩谷グリーンツーリズム研究会の皆さんのご協力により、郷土料理を中心にたくさんのおもてなしがありました。

豊かな自然、美味しい食を地域の特徴としてPRしている「田舎」は無数にあります。そのような中で、上毛町が魅力的に映るのは、何かに挑戦しようとしている地域の皆さんの姿だといわれています。ワーキングステイに参加された方の中には、実際に移住を検討しているという話しもあります。

今回は、「上毛町で働きながら暮らす」という新しい切り口で、町の魅力や課題などを検証しました。都市住民の移住や交流に関する様々なニーズを的確に判断し、これからのプロジェクトに役立てていく計画です。

※上毛町ワーキングステイは、都市住民が上毛町で働きながら暮らすことの可能性を検証するプロジェクトです。

唐原小学校3年生 豆腐作り体験

12月4日(火)、食生活改善推進協議会の皆さんのご協力のもと、自分たちが育てた大豆で豆腐作りにチャレンジしました。この大豆は総合的な学習の時間の取組で、種まきから収穫までを行ったもので、11月に収穫したばかりのものです。

初めての体験に緊張気味だった子どもたちも、だんだん作業に熱中していきました。にがりを味見して「すごく苦い」と大さわぎしたり、固まった豆腐を見て「うわあ、固まってきたよ、すごい」と感動したり、とても楽しそうにしていました。でき上がった豆腐を食べて、「いつもの豆腐よりもおいしい」「栄養がつまってる感じがする」「大豆のパワー、いっぱいもらったよ」と、満足気な顔でした。

中村地区防災避難訓練について

12月8日(土)、中村地区公民館付近にて佐井川の氾濫を想定した訓練を行いました。中村地区から58名の方々が参加し、災害時における要護者の避難などを実践し、地域の連携と皆さんの防災意識の高揚を深めました。

第44回豊築武道大会結果

11月18日(日)に「第44回豊築武道大会」(剣道、柔道、弓道)が、豊前市民体育館などで開催されました。

剣道の大会結果は、次のとおりです。

個人賞

【小学男子5年生の部】 優勝 出口 凜
【小学女子低学年の部】 準優勝 出口 瑞希
【中学校男子の部】 優勝 坂口 尚弥

団体賞

【一般団体の部】 優勝 上毛町大新館

第27回少林寺流錬心館 大分県空手道選手権大会結果

11月4日(日)に「第27回少林寺流錬心館大分県空手道選手権大会」が宇佐市総合運動場内武道場で開催されました。この大会には、幼児から一般まで、総勢約200名の選手が出場し、型試合と組手試合の各部門に分かれて試合を行いました。

少林寺流空手大平支部、新吉富支部の選手は、日頃の練習の成果を充分に発揮しました。

大会結果は、次のとおりです。

【女子組手の部】 優勝 進 友佳里
【小学生低学年型の部】 優勝 出口 祐里
【小学生高学年型の部】 準優勝 小出石 果子
【小学生高学年型の部】 第3位 堤 涼介
【小学生高学年型の部】 第4位 進 萌絵里